

会 議 録

会議名称	第4期幸区区民会議 第1回専門部会（仮称）B部会
日 時	平成24年8月30日（木）18:30～20:40
会 場	幸区役所 プレハブ会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ●区民会議委員（五十音順） 神谷美和委員、古場敏光委員、酒井清委員、鈴木忠夫委員、鈴木都委員、戸張一吉委員、榎林照江委員、原紀代子委員、春田公江委員、村田清子委員、遊佐栄津子委員 ●事務局 幸区役所まちづくり推進部企画課 佐々木智子課長、加藤剛史係長、菅野和彦職員、株式会社地域計画連合 田口香子研究員
欠席者	なし
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ●議事次第 ●資料1 第4期幸区区民会議B部会 意見結果概要 ●資料2 第4期幸区区民会議 審議テーマにおける選定基準 ●第4期幸区区民会議専門部会名簿 ●川崎市区民会議条例施行規則 ●第4期幸区区民会議だより（第1号）（案） ●第4期幸区区民会議委員連絡簿掲載用記入用紙 ●第1回第4期幸区区民会議議事録
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 正副部会長の選出について 2 審議テーマの選定について 3 その他
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ●部会長には、古場委員が選出された ●副部会長には、村田委員が選出された ●審議テーマの投票は、後日各委員に送付して行なう。
会議の内容 及び 主な発言	<ol style="list-style-type: none"> 1 正副会長の選出について 互選により、部会長に古場委員、副部会長に村田委員が選出された。 2 審議テーマの選定について 資料1に基づき、審議テーマについて協議を行った。 <p>【審議テーマに関する主な意見】</p> <p>（現状の把握）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●老人クラブに所属しており、高齢者にやさしいまちのための環境をつくりたい。そのための実態調査が必要だ。川崎区ではすでに始まっていると聞いた。 ●第2期区民会議では子ども、第3期は高齢者であったため、障害者を取り上げたい。 ●障害者は、家族の中だけで一生懸命（生活支援などを）行っている。家族や当事者を支えていきたい。また、災害時の障害者の対応を進めなくていけないと思う。 ●個人情報保護の問題があり、（助けを必要としている人が）他者の助けを得られにくい。 <p>（相互理解の促進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ひとり暮らしで、自治会や老人クラブに入っていない人がいる。災害時に困る。

- 日常で引きこもり、心を閉じている高齢者がいるのが問題と考えている。
- 近隣にどのような障害者がいるのか分からない。双方で悩みなどを理解することが第一歩として重要だと思う。

(誰もが交流できる場づくり)

- 前回は高齢者がメインだったので、子育てを対象として提案した。
- 地域の交流の場として、親子のコンサートを行えればと考えた。

(地域の見守り体制づくり)

- 民生委員の立場、また様々な報道から考えた。民生委員だけでの見守りは、限界がある。
- 地域全体で見守り体制をつくれればよいのではないかと。また行政から、地域のつながりの重要性をPRしてはどうか。
- 川崎市の地域福祉計画委員会に参加した際に、「障害者の実態が民生委員におりてこないの、分からない」と発言したら、同席した学識者から「民生委員に障害者の情報をおろすことは問題がない」と言われた。障害者の人からも「私たちは民生委員の支援を待っているが、支援が来ない」と言われ、個人情報保護の問題について、改めて考えさせられた。実情を知りたい。

(日常生活における支援)

- 地域で日常生活の支援を必要としている人、支援を行いたい人がいると思う。有償での活動も視野に入れながら、双方のマッチングや活動の支援を行ってはどうか。
- 現在、傾聴活動を行っている。この取組をさらに広げていきたい。

(地域の活動人材や団体の育成・活用)

- 地域には退職を迎えたシニア世代が多いが、地域に関わる機会をもたずに過ごしている。彼らを地域活動に取り込めたらよいのではないかと。
- ボランティア団体の関係者が、直接顔を合わせて交流できれば互いの理解も早く、信頼関係を築けるため、そのような機会を増やしてほしい。

(地域の魅力・情報発信)

- 夢見ヶ崎公園には、歴史や秋草文壺など、隠れた魅力がまだたくさんある。展望台や望遠鏡の設置をすすめて、さらに魅力をPRしていくべきではないかと。
- 幸区の「花と木」を広めて、植樹や花壇の手入れを地域ですることは、交流にもつながる。議論の方向性とも合っていると思う。

【選定方法等について】

- 審議テーマ選定のため、各委員が持ち帰って考え、後日投票する。

3. その他

(1) 「第4期幸区区民会議だより」の発行について

- 今期も、区民会議の取組を広く区民の皆様等に周知するため発行することになった。

(2) 委員同士・委員と事務局との連絡用連絡簿の作成について

- 連絡簿の作成を行い、委員と事務局で共有することとした。

(3) 平成24年度の区民会議交流会の開催日時等について

- 毎年、7区の区民会議委員の交流を図ることを目的に開催している区民会議交流会を平成25年2月14日(木)18時から中原区役所会議室で開催することを伝えた。

(4) 次回の専門部会について

- 平成24年10月3日(水)18時30分から開催する。

以 上